



市の取り組みについて  
(6.9.11月補正予算)

# 01 清水日本平運動公園球技場設備更新

スタジアムの設備をJリーグクラブライセンス基準を満たす水準まで改善し、観戦する市民やチームなどの施設利用者が快適に利用できる環境を整備する。

## ■実施の背景①

本市では、企業版ふるさと納税を活用し、本市をホームタウンとするプロスポーツチーム等と連携したスポーツの普及や競技環境の整備などの地方創生に資する事業を行う「プロスポーツチーム等連携プロジェクト」を実施している。

## ■実施の背景②

複数の企業から企業版ふるさと納税として清水エスパルスとの連携事業に対する寄付を受け、当該チームと用途を協議した結果、IAIスタジアム日本平(清水日本平運動公園球技場)の設備更新に活用することとした。

## □内容

### (1)6月補正

- ①トイレの洋式化 洋式トイレ70基/全200基 → 150基/全200基
- ②選手用ベンチの増設 7人掛け4基 → 6基

### (2)9月補正

- ①トイレの洋式化 洋式トイレ150基/全200基 → 200基/全200基

## 【予算額】

- (1)6月補正  
30,000千円  
《財源内訳》  
基金繰入金:30,000千円
- (2)9月補正  
15,300千円  
《財源内訳》  
寄附金:15,300千円



選手用ベンチ

## 02 庵原球場球速計測器設置業務

投球スピード測定器を設置することで、選手のモチベーション向上や観戦者等のワクワク・ドキドキの体験を提供する機会を創出し、利用者の満足度を向上させる。

### ■導入の背景①

投球の球速を表示する投球スピード測定器は、プロ野球をはじめ、高校野球が行われる野球場で設置されているが、多くの市民及びプロ野球で使用する「ちゅ～るスタジアム清水(清水庵原球場)」には設置されていない。

### 【予算額】

30,000千円

≪財源内訳≫

市 債:22,500千円

一般財源:7,500千円

### ■導入の背景②

静岡県野球連盟など多くの関係者や市民から投球スピード測定器の設置要望がある中、今シーズン(2024)よりNPBに参入したプロ野球球団の「くふうハヤテベンチャーズ静岡」の試合観戦者へのアンケートにおいても、投球スピード測定器の設置を希望する声が多く寄せられている。



※球速表示のイメージ

### □導入の効果

- ・利用者は子どもからプロ野球選手まで幅広く、例えば子どもであれば、球速が表示されることで、レベルの向上意識が高まることが想定される。
- ・プロ野球の試合では、今までイメージだけで速いと感じていたものが、実際にスピードデータを基に観戦・体感できることが可能となる。

(令和7年3月高校野球春季大会までに設置)

# 03 北部体育館空調設備改修業務

安全安心な施設運営と市民のスポーツ活動を推進するため、老朽化し稼働停止した北部体育館アリーナ及びトレーニング室の空調改修を行う。

## ■改修箇所

### ・アリーナ(46.0m×40.0m)

冷温水発生機取替、エアハンドルユニットエアフィルター交換、逆止弁取替

### ・トレーニング室(18.3m×11.7m)

パッケージエアコン6機取替

## ■改修の背景

平成9年開館(築27年)の北部体育館の空調設備は、10年ほど前から効きが悪くなってきており、機器内の部分改修を繰り返し、令和4、5年には設備課指導のもとオーバーホール修繕も実施した。

空調の改修は令和7年度に予定していたが、機器自体の老朽化が著しく、令和6年8月に逆止弁故障のため稼働停止した。そのため、令和7年夏に間に合うよう、11月補正予算にて債務負担行為を設定し、前倒して改修を行う。

## 【予算額】

91,000千円(R7 債務負担)

《内訳》

市債 : 81,900千円

一般財源: 9,100千円



# 04 静岡市アリーナ整備事業PFI等アドバイザー業務

## 大規模コンサートやプロスポーツ興行など、 現在、市内では開催できない多彩なイベントを市民が体験・体感できる アリーナの実現と東静岡の新たなまちづくり

市内では体験できない最高峰のプロスポーツや大規模コンサートが開催可能なアリーナを整備することで、ワクワク・ドキドキするような感動体験が得られるようなまちづくりを推進し、住んでみたい、訪れてみたいと思うような魅力あふれるまちづくりを実現する。

### 【予算額】

66,000千円(R7~8 債務負担)

≪内訳≫

一般財源:66,000千円

### ■静岡市アリーナ基本計画の策定

10月に公表した基本計画(案)では、PFI(BT+コンセッション方式)による整備手法を採用し、最短で令和12年度のアリーナ開業を目指すこととした。基本計画(案)の公表と合わせ、11月末まで実施したパブリックコメントの意見を反映した基本計画を年度内に策定する。

### ■PFI等アドバイザー業務

本市で初めて導入するコンセッション方式は、事業の収益性を最大限に高め、民間事業者の投資意欲、競争が生まれるような公募条件を設定することが重要となるため、金融、法務、技術等の専門知識が必要となるため、外部のアドバイザーの支援を受ける。



※アリーナの外観、内観イメージ

# お問い合わせ

## 【電話番号】

スポーツ振興課	企画係	054-221-1183
	推進係	054-221-1038
	施設第1係	054-221-1071
	施設第2係	054-221-1283
スポーツ交流課	スポーツツーリズム推進係	054-221-1037
	ホームタウン推進係	054-221-1072
	プロ野球球団連携推進室	054-221-1605

## 【メールアドレス】

スポーツ振興課	<a href="mailto:sports@city.shizuoka.lg.jp">sports@city.shizuoka.lg.jp</a>
スポーツ交流課	<a href="mailto:sports_kouryu@city.shizuoka.lg.jp">sports_kouryu@city.shizuoka.lg.jp</a>